

足、腰の「痛み」「しびれ」を 年齢のせいとあきらめていませんか。

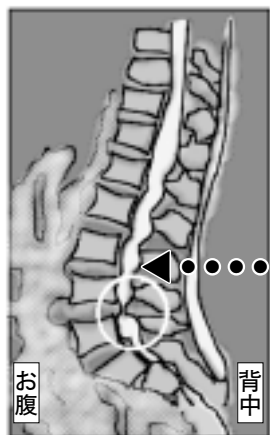
「腰部脊柱管狭窄症」

高齢者にも負担の少ない治療をすすめています。



腰部脊柱管狭窄症(ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう)とは、

脊柱管は、背骨や椎間板^{ついかんばん}などで囲まれた神経の通るトンネルです。腰部脊柱管狭窄症は、この脊柱管がさまざまな原因で狭くなり、中を通る神経が圧迫されることによって腰痛や下肢のしびれを起こす病気です。若年者から高齢者まで、あらゆる年代で発症する可能性があり、特に50歳代以上の方に多く発症する傾向にあります。



神経の通り道が狭くなっていることが、レントゲン写真でわかります。

脊椎の断面を上から見た場合 (イメージ)



神経の通り道(脊柱管)が狭いことからさまざまな症状が引き起こされます。

腰部脊柱管狭窄症の検査と治療方法は、

エックス線撮影やCT (コンピュータ断層撮影)、MRI (磁気共鳴画像) 検査を行い、脊柱管が狭くないかを確認します。脊柱管が狭くなっていけば、リハビリや投薬・神経ブロック注射などの治療を行います。この治療で改善しない場合は、手術によって神経の圧迫を取り除くこともあります。



腰部脊柱管狭窄症の手術について

脊柱管狭窄症改善のためには、「脊柱管を広げることで神経への圧迫を取り除く」除圧の手術が必要となり、手術は、次の2通りが行われます。

- ①椎弓という脊髄神経の後方の骨を全て取ってしまう手術
- ②手術用顕微鏡を用いて片側の椎弓のみを削る手術（片側部分椎弓切除術）

美濃病院では、体に負担のかからない「②片側部分椎弓切除術」を採用し、80歳を超える高齢の方にも安心して手術が受けられるようになっています。

ようついで 腰椎片側部分椎弓切除術

この手術は、切開部が小さく出血量もごく少量で済みます。

手術時間は1～2時間で、手術翌日には座ったり、歩いたりすることも可能です。

なお、入院期間は、2～3週間です。

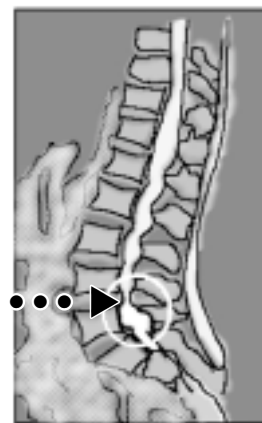


片側の椎弓を削り取り、
脊柱管を広げます。

手術前と手術後の比較（イメージ）



【手術前】
神経の通り道が狭く、神経が圧迫されています。



【手術後】
背骨の一部を削り取ることで、神経の通り道が広くなり、神経圧迫が改善されています。

足、腰の痛みで困っている方は、美濃病院整形外科にご相談ください。

美濃病院整形外科医師紹介

田中健一郎 整形外科医長（写真中央）

「4月に岐阜大学医学部附属病院より赴任してきました。大学では脊椎を専門とし、多くの手術や治療を行ってまいりました。腰痛・頸痛などでお困りの方はご相談ください。

（所属学会） 日本脊椎脊髄病学会（指導医）
日本整形外科学会（専門医）



医師と手術室スタッフが連携し、安全な手術の実施に努めています。

詳しい問い合わせは、
美濃市立美濃病院（☎33-1221）まで



美濃病院では、看護師を募集しています。

美濃病院では、看護師を募集しています。

看護師資格をお持ちで、
・転職を希望される方
・再就職を希望される方
（結婚、育児などで現場を離れている方）など
お気軽にお問い合わせください。

※詳しくは、美濃病院事務局（☎33・1221）まで

美濃病院では、
看護師を募集
しています。